

岐阜社会保険病院の「今」を伝える

2013.4

HATOBUKI
春号
Vol.3

はとぶき

特集

貧血から白血病まで、先進医療を駆使した治療を

日蓮月歩する血液の専門家・血液内科

地域医療機関と岐阜社会保険病院を結ぶ懸け橋

医療連携室だより VOL.3

Akiなかむらクリニック・びくしい整形外科

はとぶきホットライン VOL.2

院内で快適にインターネットを！ FREE SPOTはじめました。

新年度の御挨拶

当院の情報紙「はとぶき」の第3号をお届けいたします。

すでにご存じの方もいらっしゃるとは思いますが、我々社会保険病院グループは、平成26年4月より新たに独立行政法人「地域医療機能推進機構」に改組されることが決まっています。それに伴つて現在の社会保険病院という名称はあと1年足らずで変更されることになります。また新しい名称は正式には決まっていませんが、決まり次第この冊子を通じてもご紹介していきたいと思っています。

病院名が変わっても地域医療に対する姿勢は何ら変わることはありません。

今後とも今

までどおりの
御支援をお願
いいたします。



岐阜社会保険病院
病院長 岸田喜彦

はとぶきギャラリー

ーおしらせー

皆さまの作品を「はとぶき」に掲載!
はとぶきギャラリー投稿写真募集!

募集テーマ「鳩吹山とわが町」



鳩吹山を背景に、満開の桜が春を感じさせる左の写真。これは加茂郡八百津町の古田武久様より提供いただいた作品です。当院では「はとぶき」に掲載する写真を募集しています。テーマは「鳩吹山とわが町」。投稿していただいた写真は、本誌の表紙や当コーナーで紹介いたします。写真の裏に自信のある方や、鳩吹山と地元の良さを写真で伝えたい方は、奮って自慢の作品を投稿ください。たくさんの方のご応募を、心よりお待ちしております。

応募・お問い合わせ

岐阜社会保険病院 企画情報室 池戸

☎.0574-25-3113

mail: kikaku@gifushaho-hp.com

特集

日進月歩する血液の専門家・血液内科

血液内科という診療科名をご存じですか。白血球や赤血球、血小板といった血液細胞を専門とする診療科で、医学の進歩が目覚ましい分野の一つです。今回は、当院副院長で、血液内科の担当医である伊藤貴彦先生に話を聞きました。

全身をめぐる血液が専門
国内に数百しかない診療科

2004年、620万人の観客動員数を記録した大ヒット映画『世界

の中心で、愛をさけな』。白血病を患つたヒロイン・廣瀬アキと、主人公・松本朔太郎を中心に展開する感動的なストーリーは大きな反響を呼び、同年アカデミーにもなりました。

この映画の主題のひとつであった白血病「血液のがん」ともいわれ、遺伝子変異を起こした白血球が骨髄で増殖し、正常な造血を阻害する病です。正常な血液細胞が減るため、感染症や貧血、出血症状のほか、骨髄からあふれた白血病細胞がさまざまな臓器に侵入して傷害することもあり、命にかかる病気です。

血液やリンパ系の癌には、ほかに悪性リンパ腫や多発性骨髓腫などがあります。治療は骨髓の造血幹細胞移植が主だと思われがちですが、抗がん剤によって骨髓内の癌細胞を死滅させる治療法が多いです。いずれの治療においても一時的に白血球が死滅し抵抗力が著しく下がるため、病原菌やカビなどによって感染症を引き起こす危険が高まります。

2005年の統計で、日本の患者数は年間9千人、10万人に71人が発症する白血病をはじめとする血液の癌こうした血液の癌を担当する診療科が血液内科です。血液内科は、血液学の知識のほかに、感染症



▲ 血液内科医 吉田祐先生



▲ 癌がん剤を投与した患者にとって、ワイルズや細菌、カビによる感染症が心配なのが、クリーンルームがそれを防ぎます。



▲ 血液成分分離装置、各部から漏れた液の回収瓶もこの量まで貯ります。



▲ 血液内科を担当する医師を含むスタッフ

幹細胞をマイナス80度で保存し、自家移植する設備、血液より造血幹細胞を取り出す血液成分分離装置との装置を駆使する臨床工学技士も常駐。岐阜社会保険病院では、診断から治療まで、すべて病院内で行える設備・人材が整っています。

多くの患者を救いたい がんを治す夢が叶う血液内科

「がんを治したい」という夢をもつて医療の道を歩んだ伊藤先生。血液学の面白さに惹かれて、その夢を叶えてくれました。

「次々と更新されていく医療機器や薬品を学んでいくことは大変ですが昔に比べて今は随分教える人が増えました。毎年、長期生存を期待できる人がたくさんいます」とうれしそうに話します。

全国的に減っている血液内

科。岐阜県でも岐阜社会保険病院のほかには、岐阜市や高山市など数ヵ所しかなく、徐々に拡充化が進んでいます。「多くの患者さんに負担なく医療を提供するた

めに、血液内科を希望する医師が増えてほしい」と伊藤先生。ひとりでも多くの患者を救い、医療を志す人たちが夢をもって血液内科の扉を叩いてくれるように、今日も岐阜社会保険病院血液内科はひとりひとり手を尽くし、向き合っています。



▲ 診断機でしか見ることができない世界の状況を確認することも専門医療機器の重要な目です



▲ 伊藤先生と検査係の助手チーム。血液を専門とするスタッフが、患者の発見に全力を尽くしています。

自覚ましく進化する医療分野 不治の病は治せる病気に

血液の癌は、ここ数十年で『余命いくばくしかない不治の病ではなくなりました』と話すのは、2人の血液内科専門医のひとりである伊藤貴志先生。血液は脳や腎臓と異なり、採取しやすいため、研究が盛んに行われています。そのため、日進月歩で新薬や新しい治療法が生まれ、助かる命が大幅に増えています。

現在、岐阜社会保険病院の血液内科では、主に抗がん剤を使った治療を行っています。血液のがんの治療法について、ドナーが提供した骨髄液を移植する同種移植を連想する人が多くなっています。

血液内科では、主に抗がん剤を使った治療を行っています。血液のがんの治療法について、ドナーが提供した骨髄液を移植する同種移植を連想する人が多くなっています。



▲ 伊藤先生と検査係の助手チーム。血液を専門とするスタッフが、患者の発見に全力を尽くしています。

■ 外来診療担当表 平成25年4月1日現在

診療科		月	火	水	木	金
内科	初診	岩田 敏和	吉田 均	横内 一彦	浅野 遼之	伊藤 寛彦
	2診(消化器)	渡邊 久信	清水 遼治	印藤 敏彦	清水 遼治	伊藤 敏彦
					** 渡邊 久信	
	3診 (循環器)	山田 清康	岩田 敏和	山田 清康	山田 清康	鈴木 達
		横内 一彦	上木 芳介	林 春之	松尾 一宏	横内 一彦
	4診		林 13:00~			
	5診(呼吸器)		名島 智彦	島田 永子	伊藤 亮太	
	6診(神経内科)	土方 靖浩	橋本 里奈		小池 春樹	横井 聰
	7診 (血液)	吉田 均	伊藤 貴彦	吉田 均	西山 喬大	
	(腎臓)					浅野 遼之
外科	8診(内分泌)	泊 康 誠	石黒 健明	石黒 健明		高根 健介
	専門外来(予約制)				和谷 志郎 13:00~	
	1 診	瀬古 浩	太田 健介	瀬古 浩	太田 健介	乳頭外炎 10:00~12:00
	2 診	横田 一樹	泊山 隆	横田 一樹	泊山 隆	児童 摘胡 (予約制)
	3 診	西村 廣大	岸田 喜彦	西村 廣大	中村 彰太 (予約制)	岸田 喜彦
形成外科(予約制)		高成 透介 13:30~14:30~				
		岸田 喜彦 14:00~				
整形外科	1 診	杉浦 洋	高松 要	渡部 達生	松本 佑也	三島 健一
	2 診	小早川知範	交代制 (予約制)		吉岡 哲 (リカバ)	小早川知範
	3 診	新城 駿一 (予約制)	曾知 明彦	幸島 実	幸島 実	
泌尿器科	午後					川崎 隆史 13:00~15:00(予約制)
	1 診	青木 重之	山田 芳軒	青木 重之	原 浩司	山田 芳軒
小児科	2 診			原 浩司	七浦 広志	七浦 広志
	1 診	金山 恵子	月館 幸一	月館 幸一	月館 幸一	金山 恵子
	2 診	月館 幸一				月館 幸一
	専門外来 (予約制)	月館 幸一 (慢性疾患)	小川 千香子 2-4歳(予約)	長谷川 誠一 1歳(予約制)	月館 幸一 (慢性疾患)	
耳鼻咽喉科	1 診	平野 光芳	平野 光芳	平野 光芳	平野 光芳	平野 光芳
	2 診	櫻井 一生			田邊 稔介	
婦人科	1 診	片山 実	津田 弘文	片山 実	中原 駿夫	園崎てるみ
皮膚科	1 診					相葉 由季 13:00~15:00(予約制)
脳神経外科	1 診		吉田 洋之			
眼科	1 診	清水 裕司			土井 浩史	瀬野 由衣
内視鏡(カメラ)	内視鏡室	清水 遼治 印藤 敏彦	印藤 敏彦 渡邊 久信	清水 遼治 渡邊 久信	印藤 敏彦	渡邊 久信

□ 外来受付時間 ●初診 8:30~11:30 ●再診 8:30~12:00 ○休診日 土・日・祝日・年末年始



表紙の写真は、当院併設の老人保健施設に咲く「薔薇」で、竣工の記念に岐阜県の各地より搬入していただき飾られたもの一つです。五角形のはなびらが咲く薔薇は河内県飛騨でも珍しく、毎年白いはなびらとともに青葉へ春を伝えてくれています。